

講義ユニット名	放射線診断		所属科目名	器官・システム病態制御学Ⅱ
講義ユニット 責任者	あわい かずお 栗井 和夫	所属	放射線診断科 (内線 5257)	
		メール	awai@hiroshima-u.ac.jp	
講義ユニット コーディネーター	あわい かずお 栗井 和夫	所属	放射線診断科 (内線 5257)	
		メール	awai@hiroshima-u.ac.jp	
授業方法	講義形式。パワーポイントを使用して、スライドを呈示しながら進める。			
概要	画像診断では、心臓大血管・呼吸器などの領域別に、代表的疾患あるいは病態について、単純X線写真・CT・MRI・核医学検査等の読影法と鑑別診断の考え方を講義する。インターベンショナルラジオロジー（IVR、画像診断技術を用いた低侵襲治療）では、IVRの基本的な手技およびその理論的背景を概説し、種々の臨床応用について述べる。			
講義ユニットの 到達目標	<p>脳・脊髄のコンピュータ断層撮影(computed tomography <CT>)・磁気共鳴画像法(magnetic resonance imaging <MRI>)検査の適応と異常所見を説明し、結果を解釈できる。</p> <p>筋骨格系画像診断（エックス線撮影、コンピュータ断層撮影<CT>、磁気共鳴画像法<MRI>、超音波検査、骨塩定量）の適応を概説できる。</p> <p>単純エックス線撮影、コンピュータ断層撮影<CT>、磁気共鳴画像法<MRI>、及び核医学検査（ポジトロン断層法(positron emission tomography <PET>)検査を含む）等の画像検査の意義を説明できる。</p> <p>消化器系疾患の画像検査を列挙し、その適応と異常所見を説明し、結果を解釈できる。</p> <p>腎・尿路系の画像診断の適応と異常所見を概説できる。</p> <p>精巣と前立腺の検査法（尿路造影、超音波検査、コンピュータ断層撮影<CT>、磁気共鳴画像法<MRI>）の適応と異常所見を説明し、結果を解釈できる。</p> <p>骨盤内臓器と腫瘍の画像診断（超音波検査、コンピュータ断層撮影<CT>、磁気共鳴画像法<MRI>、子宮卵管造影(hysterosalpingography <HSG>)所見を概説できる。</p> <p>乳房腫瘍の画像診断（乳房撮影、超音波検査、磁気共鳴画像法<MRI>）を概説できる。</p> <p>腫瘍の画像所見や診断を説明できる。</p> <p>エックス線撮影、コンピュータ断層撮影<CT>、磁気共鳴画像法<MRI>と核医学検査の原理を説明できる。</p> <p>エックス線撮影、コンピュータ断層撮影<CT>、磁気共鳴画像法<MRI>と核医学検査の読影の基本を説明できる。</p> <p>放射線診断・治療による利益と不利益を説明できる。</p> <p>インターベンショナルラジオロジー（画像誘導下治療）を概説できる。</p> <p>主な疾患、病態のエコー像を概説できる。</p>			
講義日程	別紙日程表を参照のこと			
出席の取り扱い	出席状況把握システムあるいは小テスト等により毎講義出席をとる。 3分の2以上の出席がない場合は本試験の受験資格を与えない。			
評価項目	画像に関する基本的な知識（CT値の解釈の仕方、MRI画像の信号特性など）、画像に関連する疾患・病態の知識、それらを応用した論理的な読影能力および疾患の鑑別能力について評価を行う。（基本的理解と知識の応用）			
評価法	MCQ形式にて試験を行う。 本試験における合格基準は60点とする。			
推奨参考書	【購入を推奨する参考書】画像診断パワフルガイド、メディカル・サイエンス・インターナショナル			